

緑のセンターだより



No.151

公益財団法人 旭川市公園緑地協会 旭川市緑のセンター（相談所）
〒078-8327 旭川市神楽岡公園内 Tel: 0166-65-5553 Fax: 0166-65-5626
旭川市公園緑地協会ホームページ <http://www.asahikawa-park.or.jp>

発行：平成 26 年 12 月 1 日

講習会のご案内

（お申込み・受付は前月の 20 日から）

「クリスマスからお正月の寄せ植え」（実習）

作品制作 in 2013

とき 平成 26 年 12 月 7 日（日）教材費 2,000 円
午後 1:30~3:30 定員 20 名
講師 フラワーマスター 山本裕美さん



年末年始のお知らせ

12 月 30 日~1 月 4 日まで
休館させていただきます
※新年は 1 月 5 日から
開館いたします

「果樹の剪定と栽培管理」

とき 平成 27 年 2 月 22 日（日）
午後 1:30~3:30 定員 50 名
講師 ふじくらますも果樹園
代表 増茂 聡さん



☆あなたの作品を展示してみませんか？
※緑のセンター「展示コーナー」を無料で開放いたします
※講習会、その他の予定がない時期限定です
※緑化、公園緑地に関するもの
※営利を目的としない ☎詳細は 65-5553 まで

スキーできますか？
チェックしてネ！

◎歩くスキー無料貸出について

- 貸出するもの：スキー、くつ、ポールの3点
- 持参するもの：帽子、手袋、ソックスなど…
- 注意すること：靴のサイズが揃っていない…
（ソックスで調整が必要）

予定
貸出期間：12月中旬~2月28日
" 時間：10時~16時
（返却は5時まで）



歩くスキーコース：距離約 3 km



展示会のご案内

（初日は午後から、最終日は 4 時まで）

【休館日のご案内】

4 月~10 月は第 2・第 4 月曜日が休館日です（祝日の場合は翌日）
11 月~ 3 月は毎週月曜日が休館日です（ " " ）

「温室の植物写真展」

12 月 6 日~23 日

「神楽岡公園の自然写真展」

1 月 10 日~25 日



〈園芸の基礎知識〉

植物の葉

～ 落ち葉の利用 ～

庭の木々もすっかり葉を落とし、本格的な冬の季節をむかえる準備も終わりました。しかし、庭に残された落ち葉は困りものです。自宅だけならまだしも、お隣の家にもひらひら舞い落ちると迷惑をかけます。落ち葉はごみに出すより有効活用の意味でも腐葉土等に利用してください。



落ち葉やワラ、^{もみがら}、^{ざん}野菜の残さなどの^{みじく}未熟な^{ゆうきぶつ}有機物をそのまま畑に入れますと、^{びせいぶつ}微生物が有機物を分解するとき土中の窒素を大量に消費するため、窒素不足の状態（窒素飢餓）となることから、原則的に有機物は空き地などに積み上げ、時間をかけて空気中の窒素を使って分解したものを使いましょう。熟成した有機物（落ち葉）なら、微生物の^{かっこう}恰好な住家としてふかふかな土づくりに役立ちます。

緑の相談 QアンドA (25)

腐葉土にはどんな性質・効果があるの？

腐葉土は、落ち葉を発酵させて数回の切り返しを行い完熟させた「^{おちばたいひ}落葉堆肥」です。通気性・保水性・保肥性に富み、^{びりょうようそ}微量元素を含んでいますので微生物の活性化・土質を良くし、排水性がよくない土と混ぜることで土質を改善することができる材料です。



腐葉土の働きは、用土の中に適度な大きさの空間を作ります。これによって水はけ・通気が改善されて植物の生育が良くなります。また、腐葉土は有機質ですから、バクテリアやカビなどのエネルギー源、栄養の供給源となり、土の中の微生物群が発達し、土が健康になる効果も期待することができます。

植物の病害虫

その22 「炭そ病」



トマト(果実)の炭そ病



キュウリ(葉)の炭素病



ミルトニア(葉)の炭そ病

1 寄主範囲

野菜ではピーマン、トマト、キュウリ、スイカ、メロンなど、花き類ではスターチス、ユリ、アジサイ、ツバキ、ラン類など、果樹類ではリンゴ、ナシ、モモ、オウトウ、ブドウ(晩腐病)など、樹木ではアオキ、ニセアカシア、ヒイラギナンテンなど、その他芝類など多くの植物に寄生する病気です。

2 病徴

糸状菌(カビ)の仲間、主に葉に発生しますが、トマトには果実にも発生します。黒褐色の小斑点がしだいに拡大し、斑点の内側が淡褐色～灰白色の大きな病斑になり、葉に穴があき、葉先から枯れてきます。果実は黒いすす状の斑点が拡大し、果実が急に熟して腐敗したようになって落果します。

3 伝染経路

土壌中や土壌表面にある被害茎葉内、樹木の樹上などで菌糸の形で越冬し、果樹では罹病幼果の果梗基部に接した枝の組織内で潜伏越冬した菌糸に分生子が形成されます。

形成された分生子は、雨しぶきなどで跳ね上がったたり、昆虫体に付着することで分散して伝染源になります。さらに支柱などの資材に付着して越冬したり、種子伝染もします。

4 発生環境

感染盛期は6～7月で、この間が高温多雨になると多発します。そのため、庭木、畑の野菜や花きなど屋外で生育する植物にも発生しますが、ラン類や観葉植物など室内で管理する植物であっても水やり時などの水滴の跳ね返りで感染することがあります。

5 防除法

- (1)健全種子を用います。種子消毒をすると効果的です。
- (2)水やりはなるべく葉に水をかけないようにして高温多湿を避け、風通しを良くします。
- (3)畑では病原菌のはね上がりを防ぐためマルチ敷設が有効です。
- (4)病株の茎葉は早めに取り除くとともに、剪定した茎葉も畑の外へ持ち出して処分します。
- (5)6～7月に予防として、または発病初期のうちに殺菌剤の茎葉散布をします。

丈夫で育てやすく春まで楽しめる ‘カラコエ’

ベンケイソウ科 カラコエ属 多肉植物（常緑多年草）

カラコエ属はアフリカ南部や東部、アラビア半島などに約 100 種が分布しています。これらの多くはマダガスカル島に自生し、現在カラコエとして流通している多くが、ブロスフェルディアナ種から改良された園芸品種で花色も豊富です。また、最近ではベル形や八重咲きの花など、別の種の交配から様々な園芸品種が育成され販売されています。今では年中店頭で見かける花ですが、本来は秋から春に花を咲かせる短日植物なのです。特にベル形のミニータ系統などは短日と低温処理が必要ですので、1月頃から店頭に出回ることになります。このほかカラコエには、葉を楽しむタイプのツキトジ(*K.tomentosa*)やセイロンベンケイ(*K.pinnata*)なども多肉植物として多く育てられています。あなたも、この冬に色鮮やかな花のカラコエを育て楽しんでみてください。

《栽培のポイント》

■置き場所

- ・秋～春は室内で 10℃以上のある日当たりの良い窓辺。初夏～初秋は雨除けのある日当たりの良い屋外

■水やり・肥料

- ・土の表面が乾いてきたらたっぷり。植替え・切戻し後は緩効性化成肥料を置き肥。1000 倍希釈液肥を月 1 回位

■せん定

- ・秋前に頂部 2～3 節で摘心。花後に 2/3 程度で切り戻し

■植替え・さし木

- ・2年に1回位で切戻し時に植替え。バーミキュライトなどに5～6節のさし穂を挿し芽

■短日処理

- ・午後5時～午前8時に段ボール箱などで約1か月遮光。ベル形は遮光と夜温 10～15℃を確保

(参考資料：NHK 出版「趣味の園芸」、別冊趣味の園芸「花名人になる! 鉢花とっておきの育て方」ほか)



花色の多いブロスフェルディアナ種のカラコエ

展示室の植物 (58)

アンズリウム・アンドレアナム (和名:オオベニウチワ、学名: *Anthurium andreaenum*)
サトイモ科 アンズリウム属

アンズリウム・アンドレアナムはコロンビア原産の熱帯性常緑多年草で、卵形の色鮮やかな美しい仏炎包とその先に伸びる小花の集まりであります尾状の肉穂花序を持ち、長い期間鑑賞できる植物です。単にアンズリウムというところのアンドレアナムをいうことが多く、花を楽しむ原種の一つで、この園芸品種が鉢花として園芸店などで多く販売されています。また、切り花としても広く利用されています。

この仲間は熱帯アメリカを中心に約 600 種あるといわれ、花を楽しむ種類のほかに、光沢のある葉色や形を楽しむ観葉植物として栽培されるものもあります。緑のセンターでも花を楽しむ種類のほかに、葉を楽しむ種類も育てています。



アンズリウム・アンドレアナムの1品種

(参考資料：山と溪谷社「山溪カラー名鑑 観葉植物」、保育社「検索入門 観葉植物②」ほか)